

# 第13回尾張地域水循環再生地域協議会

日時 平成31年2月4日（月）  
午前10時から  
場所 尾張県民事務所8階大会議室

## 次 第

### 1 開会

### 2 議事

- (1) あいち水循環再生基本構想と水循環再生地域協議会について
- (2) 地域協議会設置要綱改定について
- (3) 水循環再生行動計画の推進について
  - ア 取組点検指標を用いた取組確認結果
  - イ 流域モニタリング一斉調査結果
  - ウ 水循環再生のための啓発活動の実績
- (4) 水循環基本法に基づく流域水循環計画の策定について
  - ア 水循環基本法の概要
  - イ 水循環基本計画の概要
  - ウ 水循環基本法に基づく流域水循環計画の策定に当たっての勉強会
- (5) 取組事例紹介<庄内川河川事務所>
- (6) その他
  - ア 平成30年度 水循環啓発イベントカレンダーの実績確認
  - イ 平成31年度 水循環啓発イベントカレンダーの作成

### 3 講演（中村座長）

「健全な水循環とは何か？－水循環基本法とある市民活動を事例に－」

### 4 閉会

---

（配付資料）

第13回 尾張地域水循環再生地域協議会

# 第 13 回 尾張地域水循環再生地域協議会

〔平成 31 年 2 月 4 日〕

## 目 次

### 第 13 回尾張地域水循環再生地域協議会

あいち水循環再生基本構想と水循環再生地域協議会	P1
地域協議会設置要綱改定について	P15
取組点検指標を用いた取組確認結果	P19
流域モニタリング一斉調査結果	P31
水循環再生のための啓発活動の実績	P36
水循環基本法の概要	P38
水循環基本計画の概要	P39
水循環基本法に基づく水循環計画の策定にあたっての勉強会	P44
取組事例紹介（「藤前干潟クリーン大作戦」の取り組み～これまでの経緯～）	P47
水循環啓発イベントカレンダーの作成	P51

# 水循環再生の取組

## あいち水循環再生基本構想と 水循環再生地域協議会

1

## あいち水循環再生基本構想と 水循環再生地域協議会

- 1 水循環の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 愛知県の水質保全施策
- 4 あいち水循環再生基本構想
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

2

# 1 水循環の再生

3

## (1) 水循環のしくみ



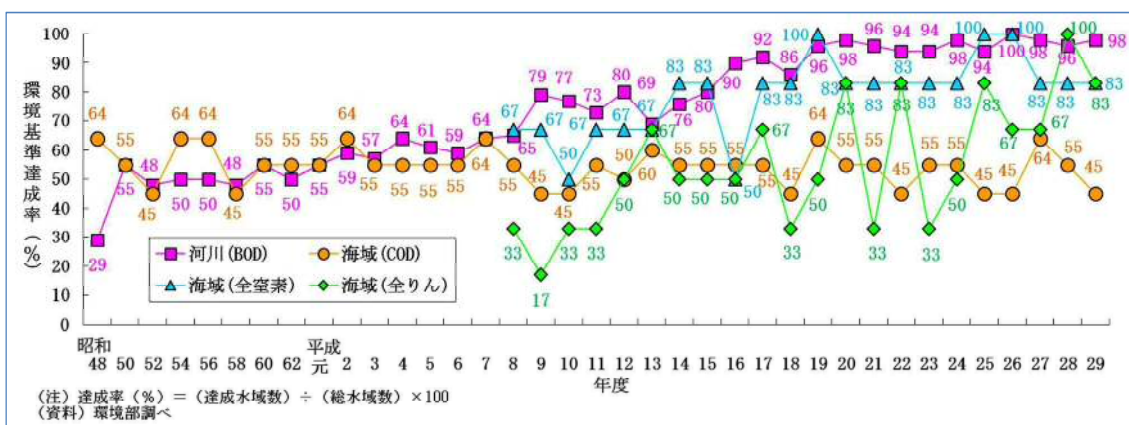
4



## 2 愛知県の水環境の状況

7

### (1) 水質環境基準の達成率(県全域)



(注) 達成率(%) = (達成水域数) ÷ (総水域数) × 100

#### <達成率の長期的な推移>

- ・ 河川のBODは改善傾向(ここ数年間は90%以上を維持)
- ・ 海域のCODは概ね横ばい、全窒素及び全燐は改善傾向

8

## (2) 赤潮の発生

**赤潮** プランクトンが異常に増殖し、海や川、運河、湖沼等の色が赤色や褐色に変色する現象。



9

## (3) 苦潮(青潮)の発生

**苦潮(青潮)** 海底付近の貧酸素水塊が、強い風などにより表層に湧き上がり、海面が青色に変色したり白濁する現象。魚や貝の大量死など大被害をもたらすことがある。



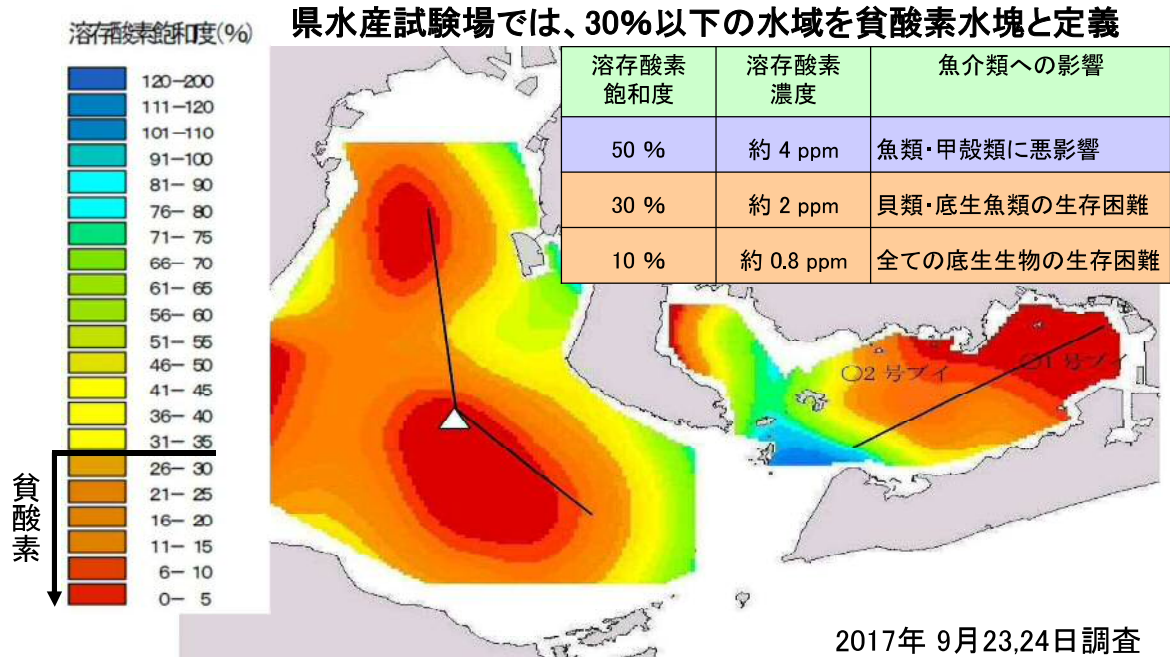
10



## (4) 貧酸素水塊

### 貧酸素水塊

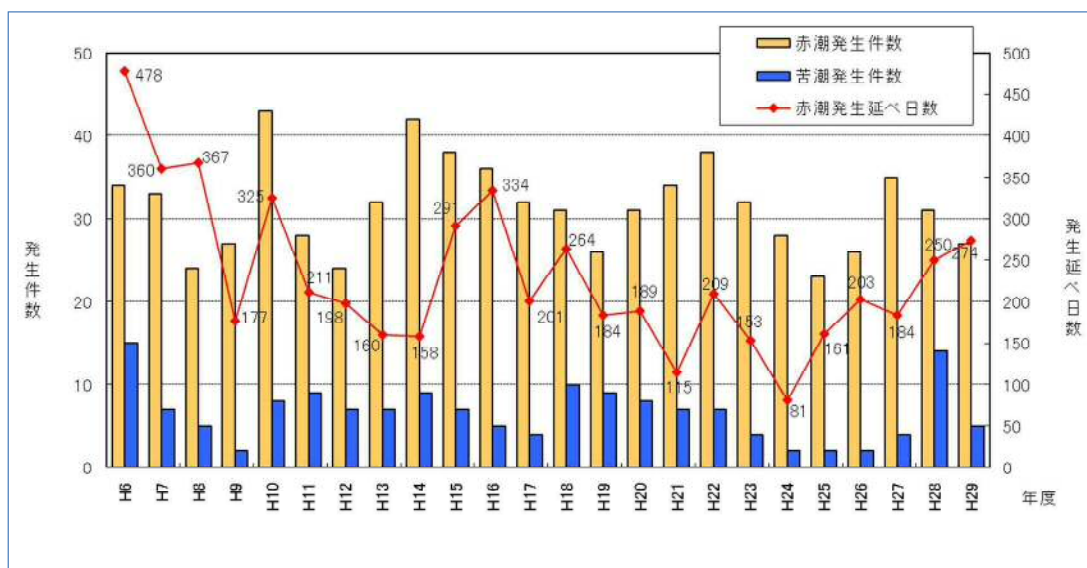
魚介類が生存できないくらいに溶存酸素濃度が低下した水の塊



出典:伊勢湾三河湾貧酸素情報(H29-9号) (愛知県水産試験場)

11

## (5) 伊勢湾・三河湾の赤潮・苦潮の発生状況

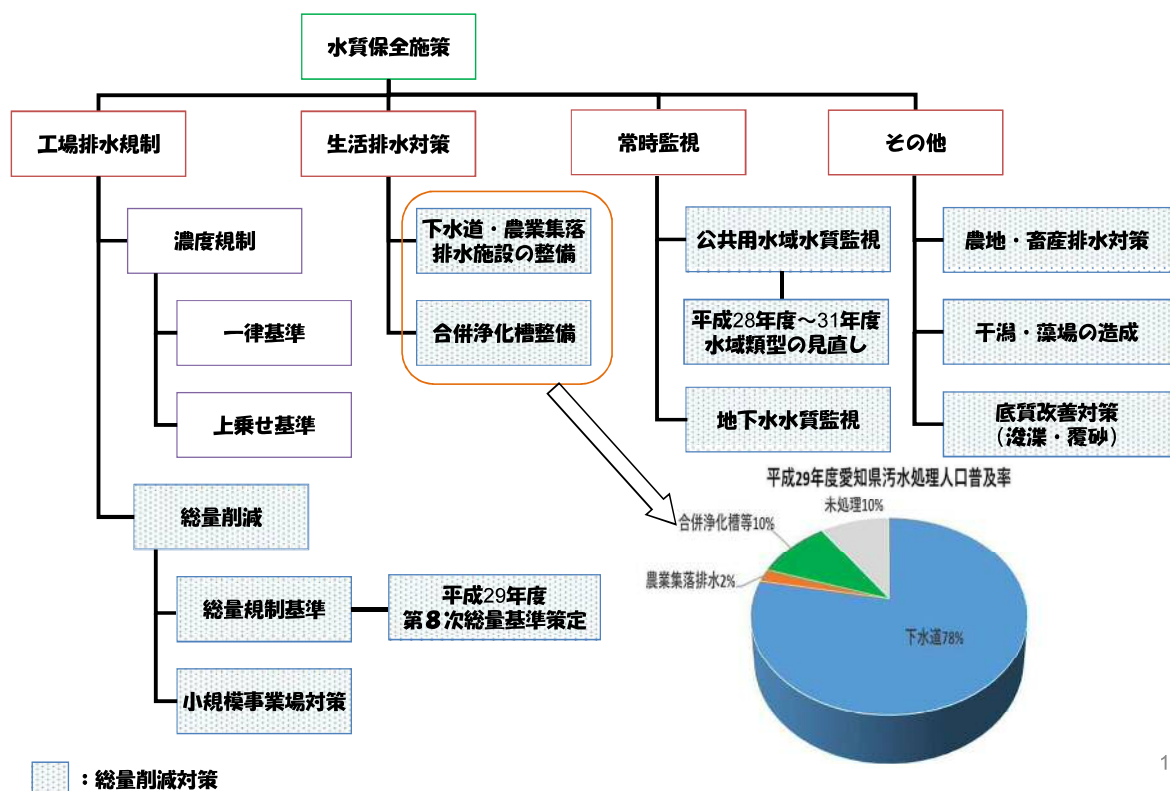


資料:農林水産部調べ

12

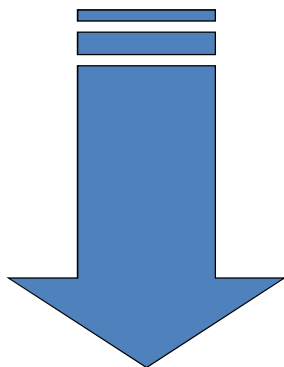
# 3 愛知県の水質保全施策

## (1) 愛知県の水質保全施策



## (2) 水質保全対策を進める上での視点の転換

場の視点



流れの視点

- 工場の排水規制などの限られた場所や、環境・治水・利水などの**限定した側面を捉えて**、各分野ごとに対策を実施

- 上流から下流までの水の流れを考慮し、**流域全体で水循環の機能に着目した取組**を総合的に実施

- 総合的な視点に立ち、**各主体が連携**して事業を実施

平成18年3月に「**あいち水循環再生基本構想**」を策定

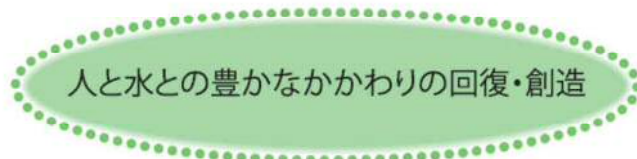
15

## 4 あいち水循環再生基本構想

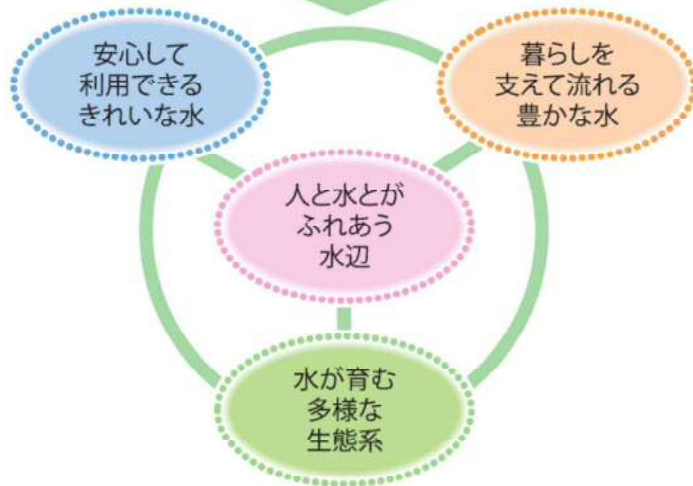
16

# (1) 基本構想の「目標」と「めざす姿」

【目標】



【めざす姿】



17

# (2) 基本構想のイメージ

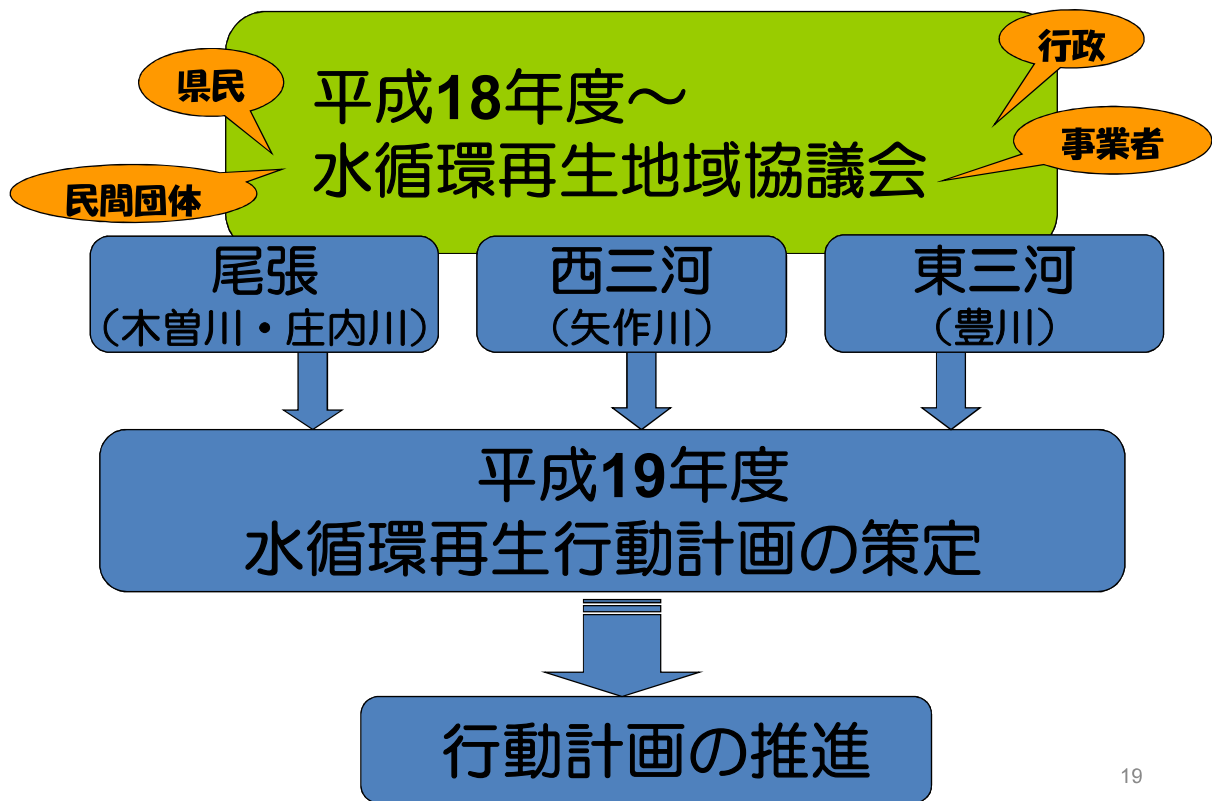
取組

【健全な水循環の機能】



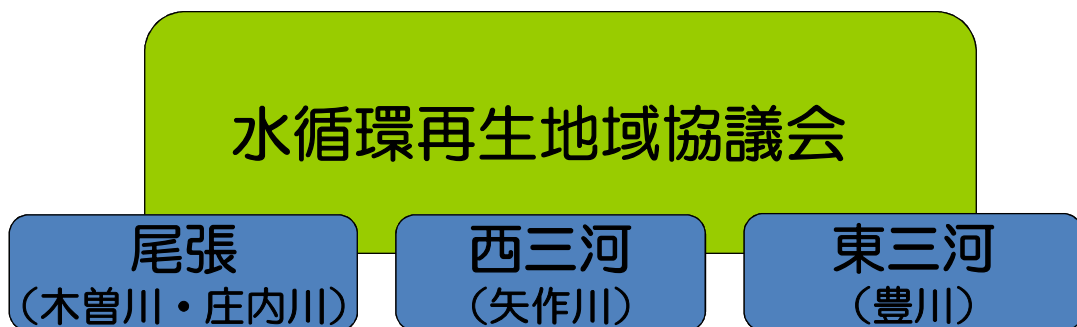
18

### (3) あいち水循環再生地域協議会



19

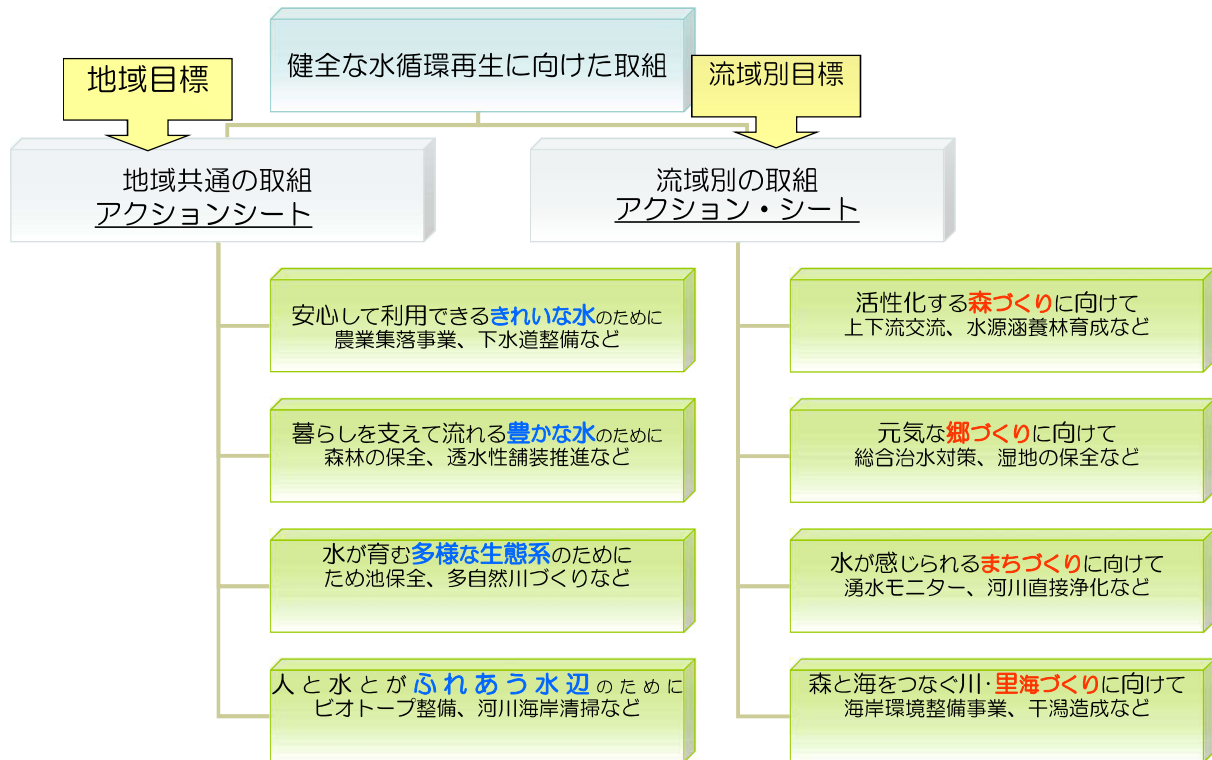
### (4) あいち水循環再生地域協議会



- 平成18年度から3地域ごとに毎年1回開催
- 水循環再生に関する取組・活動状況の総括、取組点検指標による行動計画の進捗確認、事例紹介、啓発活動の報告、構成員相互の意見交換、情報交換など

20

## (5) 水循環再生行動計画の構成



21

## (6) 現在までの協議会の経緯

- H17年度 水循環再生基本構想 策定
- H18年度 水循環再生地域協議会 設立
- H19年度 水循環再生行動計画(第1次)策定
- H20年度 取組点検指標 作成
- H21年度 流域モニタリング一斉調査 開始
- H23年度 水循環再生行動計画(第2次)策定
- H27年度 水循環再生行動計画(第3次)策定
- H29年度 流域水循環計画策定について合意

<毎年度実施>

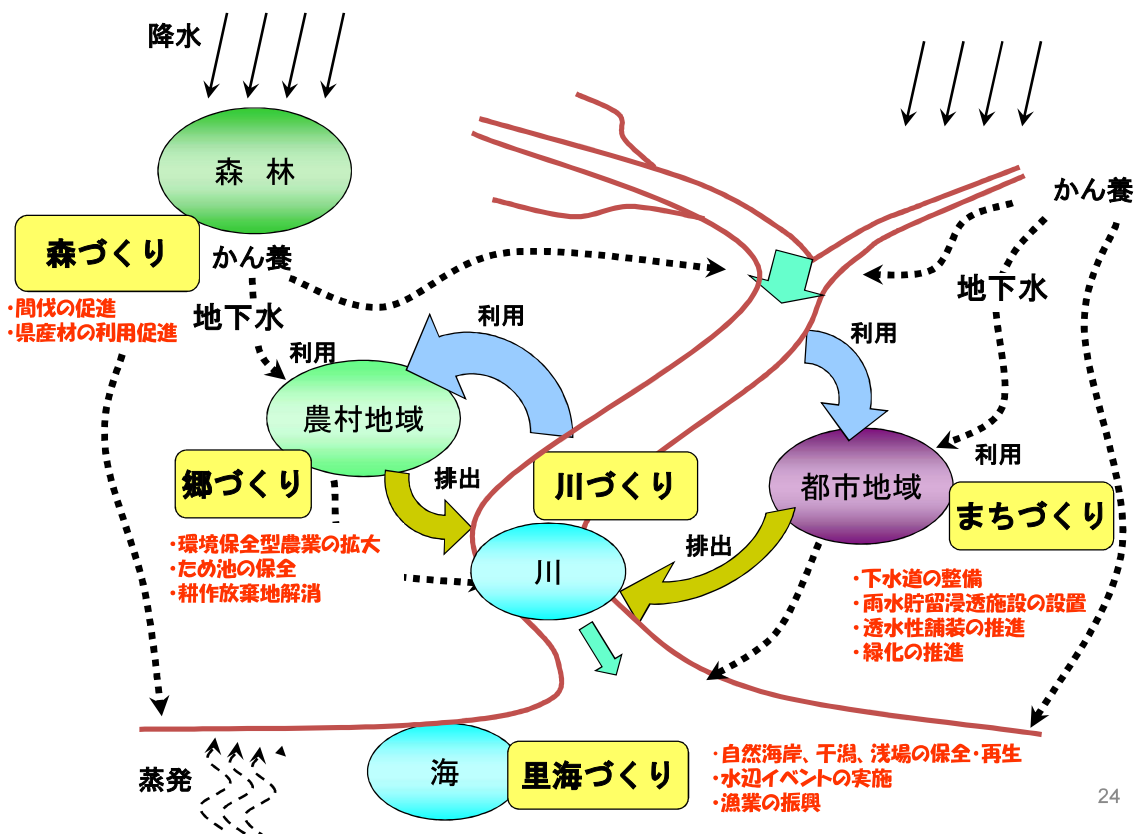
流域モニタリング一斉調査、啓発活動、

取組点検指標による進捗確認、行動計画の見直し

22

# 5 水循環再生のための取組

## (1) 水循環再生の取組



## 6 流域モニタリング一斉調査

25

### (1) 県民参加の取組

#### 「流域モニタリング一斉調査」

##### (1) 水質(きれいな水)

水の汚れ(CODパックテスト)、水の色、濁り、におい、泡・油膜、水底の感触

##### (2) 水量(豊かな水)

水深、流れの変化、流速、湧水(過去に確認された場所のみ採用)

##### (3) 生態系(多様な生態系)

水質階級(水生生物調査)、魚の調査、  
植生調査(水際、水辺周辺)、  
鳥や昆虫の調査、外来種調査

##### (4) 水辺(ふれあう水辺)

透視度、ごみの状況、  
水辺の利用のしやすさ、  
水辺への近づきやすさ、水辺の自然度、  
水辺景観(心地よさ)  
水辺での活動(①散歩、レジャー  
②環境学習 ③環境保全活動)



26



## (2) 流域モニタリング一斉調査の様子

水生生物の採取



パックテストの実施



透視度の測定



採取した水生生物



27

健全な水循環を再生するためには、  
みなさんが実施している様々な取組を  
長期的に継続して実施し、  
相互に連携していくことが不可欠です。

28

## 尾張地域水循環再生地域協議会設置要綱（案）

### （目的）

第1 尾張地域における水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して健全な水循環を再生するため、尾張地域水循環再生地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

### （協議会の行う協議・活動）

第2 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議し、活動を行う。

- （1） 水循環再生の推進に関する事項。
- （2） 水循環再生地域行動計画の策定及び推進に関する事項。
- （3） 水循環再生の取組の情報交換や調整に関する事項。
- （4） その他水環境の総合的な改善に必要な事項。

### （構成）

第3 協議会は、別表1に掲げる事業者・県民・民間団体及び市町村、国及び県等の関係機関で組織する。

### （運営）

第4 協議会各構成員の意見を中立的な立場から集約し、協議会の円滑な運営を図るため、協議会に座長を置く。

- 2 座長は、学識経験者をもって充てる。
- 3 協議会は、座長が招集する。
- 4 座長の任期は2年とし、その再任を妨げない。
- 5 座長が協議会に出席できない場合は、座長が推薦した者がその協議会において座長の代理を務める。

### （行動計画フォローアップチーム）

第5 行動計画の進捗状況の点検・把握などを行い、取組の一層の推進を図るため、協議会に行動計画フォローアップチームを設ける。

- 2 行動計画フォローアップチームは、別表2に掲げる者をもって構成するものとし、チームリーダー及びサブリーダーを置く。
- 3 チームリーダーは、環境部水大気環境課長を、サブリーダーは建設部河川課長をもって充てる。
- 4 行動計画フォローアップチームの会議は、チームリーダーが招集する。

### （外部関係者の出席）

第6 座長は、協議会に際し必要と認めるときは、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

### （事務局）

第7 事務局は、環境部水大気環境課及び建設部河川課で構成し、環境部水大気環境課が代表する。

附 則  
この要綱は、平成 19 年 3 月 26 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 22 年 2 月 17 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 23 年 2 月 8 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 24 年 2 月 13 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 25 年 2 月 8 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 26 年 1 月 29 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 29 年 5 月 31 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 31 年 2 月 日から施行する。

別表1 尾張地域水循環再生地域協議会構成員

区分	所属	役職等
座長	名古屋大学	准教授 中村晋一郎
事業者・県民・民間団体	愛知西農業協同組合	組合長
	あいち知多農業協同組合	組合長
	豊浜漁業協同組合	組合長
	木曾川漁業協同組合	組合長
	名古屋商工会議所	専務理事
	常滑商工会議所	専務理事
	愛知用水土地改良区	理事長
	大山川を愛する市民の会	世話人代表
市町村	名古屋市	環境局長
	一宮市	市長
	瀬戸市	市長
	春日井市	市長
	津島市	市長
	犬山市	市長
	常滑市	市長
	江南市	市長
	小牧市	市長
	稲沢市	市長
	東海市	市長
	知多市	市長
	尾張旭市	市長
	岩倉市	市長
	日進市	市長
	愛西市	市長
	清須市	市長
	北名古屋市	市長
	弥富市	市長
	あま市	市長
	長久手市	市長
	豊山町	町長
	大口町	町長
	扶桑町	町長
大治町	町長	
蟹江町	町長	
飛島村	村長	
国	中部地方環境事務所	総務課長
	中部地方整備局庄内川河川事務所	所長
	中部地方整備局名古屋港湾事務所	所長
	水資源機構中部支社	事業部長
県等	尾張県民事務所	所長
	尾張農林水産事務所	所長
	海部農林水産事務所	所長
	知多農林水産事務所	所長
	尾張建設事務所	所長
	一宮建設事務所	所長
	海部建設事務所	所長
	知多建設事務所	所長
	農林水産部	部長
	建設部	部長
	環境部	部長
	名古屋港管理組合	企画調整室長

別表2 尾張地域水循環再生地域協議会 行動計画フォローアップチーム

区分	所属	役職等
事業者・県民・民間団体	愛知西農業協同組合	企画課長
	豊浜漁業協同組合	参事
	名古屋商工会議所	モノづくり・イノベーションユニット長
	愛知用水土地改良区	管理部長
	大山川を愛する市民の会	清水委員会委員長
市町村	名古屋市	関係課長
	一宮市	関係課長
	春日井市	関係課長
	津島市	関係課長
	東海市	関係課長
国	中部地方整備局庄内川河川事務所	副所長
	中部地方整備局名古屋港湾事務所	企画調整課長
県等	尾張県民事務所	環境保全課長
	尾張県民事務所 海部県民センター	環境保全課長
	尾張県民事務所 知多県民センター	環境保全課長
	尾張農林水産事務所	農政課長
	海部農林水産事務所	農政課長
	知多農林水産事務所	農政課長
	尾張建設事務所	河川整備課長
	一宮建設事務所	河川整備課長
	海部建設事務所	河川整備課長
	知多建設事務所	河川港湾整備課長
	建設部	河川課長
	環境部	水大気環境課長
	名古屋港管理組合	環境担当課長

# 取組点検指標を用いた取組確認結果（尾張地域）

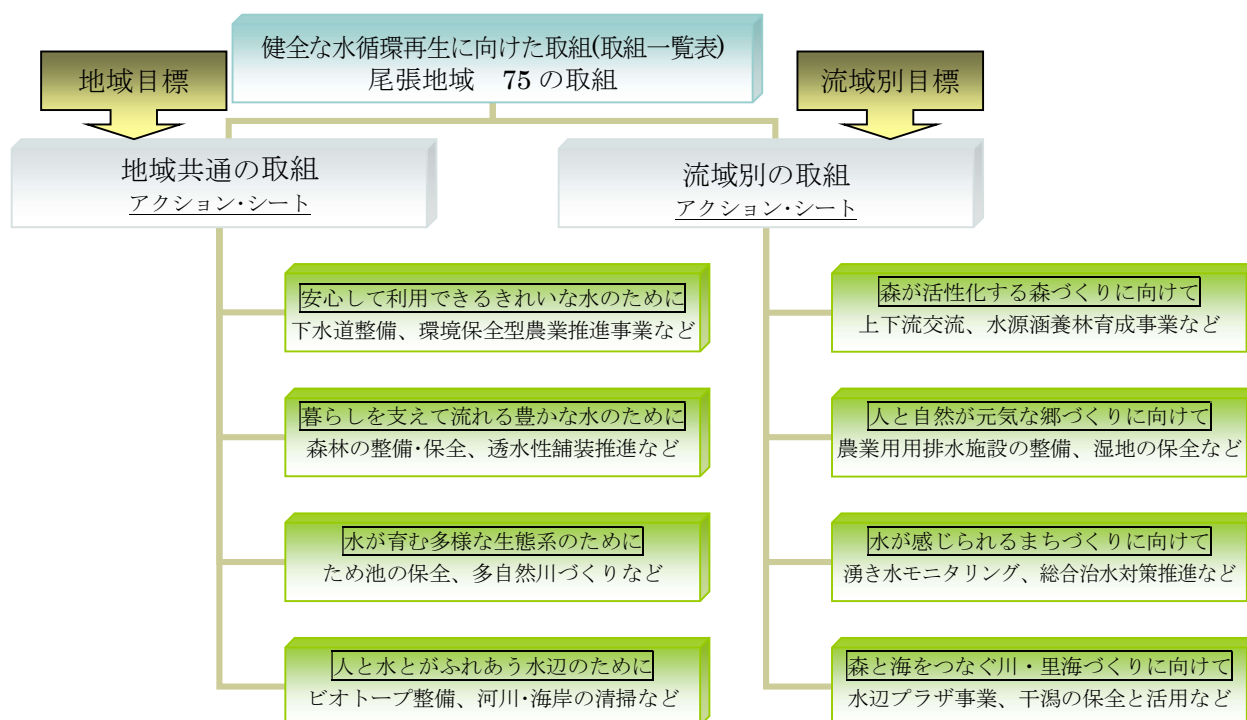
## 1 背景

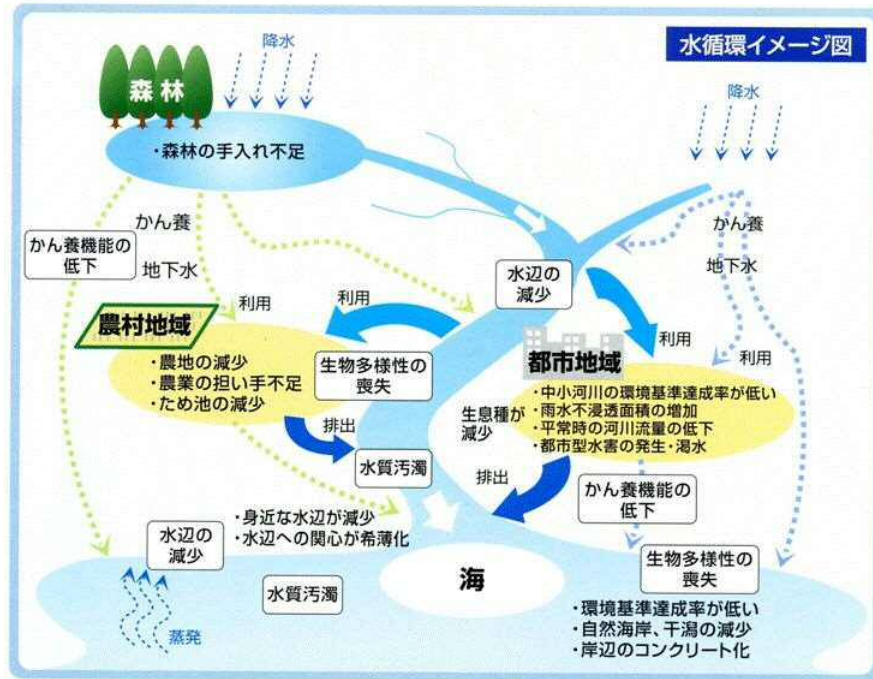
尾張地域水循環再生地域協議会に設置した行動計画フォローアップチームが中心となり、行動計画の進捗状況を把握・点検するため、平成20年度に「取組点検指標」を取りまとめ、平成21年度から取組状況の確認を行っています。

「取組点検指標」は、地域で広く実施されている基盤的な取組である「地域共通の取組」と地域に根ざした取組である「流域別の取組」が設定されています。

さらに、「地域共通の取組」は、水循環の機能である「きれいな水」「豊かな水」「多様な生態系」「ふれあう水辺」の4項目が、「流域別の取組」は、水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」「郷づくり」「まちづくり」「川、里海づくり」の4項目が設定されています。

### 【取組点検指標の概念】

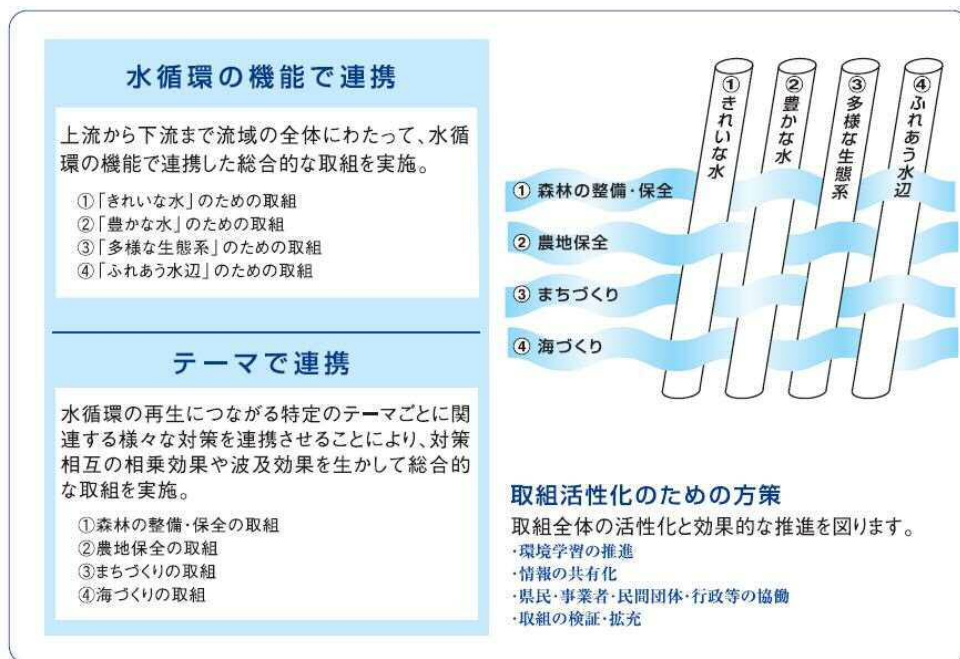




水循環のイメージ

## 2 平成29年度取組実績

- ・尾張地域水循環再生地域協議会構成員51団体により、健全な水循環機能を取り戻すため様々な取組が実施されました（取組集計結果は別表参照）。
- ・地域共通の取組については、「きれいな水」の代表的な取組である、生活排水処理施設の整備（下水道の整備等）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇しています。また、下水道施設の高度処理の導入も進んでいます。
- ・流域別の取組については、清掃活動や森林の整備、貯留浸透施設の設置などが実施されています。



健全な水循環を取り戻す取組の方向性

### 3 地域共通の取組の進捗確認

第3次の行動計画では、取組の進捗状況が示せるよう、地域共通の取組に目標値が設定されています。

(進捗状況の例)

- ・生活排水処理施設の整備は目標年度(H42)に向け整備が着実に進んでいます。
- ・雨水浸透施設等の設置や透水性舗装の整備、ため池の保全などは継続的に実施されています。
- ・河川及び海域の環境基準の達成率は目標を達成されませんでした。
- ・各取組の進捗状況は以下のとおりです。

(1/2)

	取組名	指標	実績		目標値	目標年度
			平成28年度	平成29年度		
1	生活排水処理施設の整備 (汚水処理全体)	汚水処理人口普及率	90.1%	90.5%	100%	H42
2	下水道の整備	下水道普及率	78.4%	79.2%	97.7%	H42
3	高度処理施設の導入 (下水道整備の内)	高度処理人口普及率	25.6%	31.1%	100%	H37
4	農業集落排水施設の 保全、管理	農業集落排水 処理人口普及率	1.1%	1.1%	1.0%	H42
5	合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽の 基数割合	36.3%	37.6%	100%	H42
6	コミュニティプラントの整備	コミュニティプラント 処理人口普及率	0.13%	0.13%	0.13%	H42
7	河川等公共用水域 水質監視	河川(BOD)の 環境基準達成率	93.3%	100.0%	100%	毎年
8		海域(COD)の 環境基準達成率	50%	25%	100%	毎年
9	水生生物調査	実施箇所数	38箇所	95箇所	前年増	単年
10		延べ参加人数	2,122人	1,535人	前年増	単年
11	河川・海岸の清掃	実施回数	869回	780回	前年増	単年
12		実施箇所数	181箇所	178箇所	前年増	単年
13		延べ参加人数	52,811人	43,431人	前年増	単年
14	森林の整備促進	間伐面積	109ha	19ha	4,000ha (県域)	H28 ~H32



	取組名	指標	実績		目標値	目標年度
			平成 28年度	平成 29年度		
15	雨水浸透施設等の設置 (浄化槽の転用を含む)	雨水貯留施設の 設置数	204箇所	65箇所	継続 実施	単年
16		雨水貯留浸透施設の 設置補助件数	286件	149件	継続 実施	単年
17	透水性舗装の推進	整備面積	68,705 m <sup>2</sup>	59,342 m <sup>2</sup>	継続 実施	単年
18	ため池の保全	整備箇所数	36箇所	28箇所	継続 実施	単年
19	多自然川づくり	整備延長	1.0km	0.9km	継続 実施	単年
20	ビオトープ整備	整備箇所数	1箇所	-	継続 実施	単年

尾張地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績								目標値	目標年度	指標の説明		
		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度				H29年度	
きれいな水	<b>生活排水処理施設の整備 汚水処理全体</b> ・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	汚水処理人口普及率(%)								汚水処理人口普及率(%)	汚水処理人口普及率(%)	100%	H42	汚水処理人口/行政人口×100
		84.5%	85.7%	86.3%	87.1%	88.0%	88.9%	89.2%	90.1%	90.5%				
	<b>下水道の整備</b> ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	下水道普及率(%)								下水道普及率(%)	下水道普及率(%)	97.7%	H42	下水道処理人口/行政人口×100
		72.3%	73.5%	74.3%	75.3%	76.1%	76.9%	77.6%	78.4%	79.2%				
	<b>高度処理施設の導入(下水道整備の内)</b> ・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	高度処理人口普及率(%)								高度処理人口普及率(%)	高度処理人口普及率(%)	100%	H37	高度処理人口/行政人口×100
		15.5%	18.5%	19.2%	21.9%	22.6%	24.4%	25.0%	25.6%	31.1%				
	<b>農業集落排水施設の保全、管理</b> ・農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	農業集落排水処理人口普及率(%)								農業集落排水処理人口普及率(%)	農業集落排水処理人口普及率(%)	1.0%	H42	農業集落排水処理人口/行政人口×100
		1.2%	1.2%	1.2%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%				
	<b>合併処理浄化槽の設置</b> ・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)								合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	—	—	・合併処理浄化槽設置人口/行政人口×100
		10.8%	10.8%	10.8%	10.6%	10.6%	10.8%	10.3%	10.4%	10.2%				
		合併処理浄化槽の基数割合(%)								合併処理浄化槽の基数割合(%)	合併処理浄化槽の基数割合(%)	100%	H42	・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		25.3%	27.9%	29.4%	30.6%	32.0%	33.2%	34.3%	36.3%	37.6%				
	<b>コミュニティプラントの整備</b> ・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	コミュニティプラント処理人口普及率(%)								コミュニティプラント処理人口普及率(%)	コミュニティプラント処理人口普及率(%)	0.13%	H42	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.13%	0.13%					
<b>河川等公共用水域水質監視</b> ・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	河川(BOD)の環境基準達成率(%)								河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年	・河川BODは尾張地域のみ環境基準達成率	
	93.3%	93.3%	93.3%	100%	93.3%	100%	100%	93.3%	100.0%					
	海域(COD)の環境基準達成率(%)								海域(COD)の環境基準達成率(%)	海域(COD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年	・海域CODは伊勢湾(狭義)のみ環境基準達成率	
	50%	25%	50%	50%	25%	25%	75%	50%	25%					
<b>水生生物調査</b> ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	実施箇所数								実施箇所数	実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
	31箇所	14箇所	20箇所	30箇所	27箇所	34箇所	29箇所	38箇所	95箇所					
	延べ参加人数(人)								延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	1,416人	747人	821人	1,247人	994人	2,122人	1,290人	2,122人	1,535人					
<b>河川・海岸の清掃</b> ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)								実施回数(回)	実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
	1,125回	1,038回	634回	866回	1,028回	842回	851回	869回	781回					
	実施箇所数								実施箇所数	実施箇所数	前年増	単年		
	127箇所	112箇所	120箇所	225箇所	242箇所	224箇所	196箇所	181箇所	179箇所					
	延べ参加人数(人)								延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	54,087人	34,710人	32,547人	61,280人	67,749人	68,852人	56,122人	52,811人	44,281人					

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績									目標値	目標年度	指標の説明
		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
豊かな水	<b>森林整備の促進</b> ・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	間伐面積 (ha)							間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)	4,000ha (県域)	H28 ~H32	間伐を実施した面積
	40ha	40ha	65ha	141ha	133ha	141ha	105ha	109ha	19ha				
	<b>雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)</b> ・降雨時における雨水流出抑制を図ることで、河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用品となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	雨水貯留施設の設置数							雨水貯留施設の設置数	雨水貯留施設の設置数	継続 実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	31箇所	168箇所	328箇所	351箇所	341箇所	324箇所	214箇所	204箇所	65箇所				
		雨水貯留浸透施設設置補助件数							雨水貯留浸透施設設置補助件数	雨水貯留浸透施設設置補助件数	継続 実施	単年	
354件	263件	548件	746件	612件	526件	319件	286件	149件					
<b>透水性舗装の推進</b> ・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。	整備面積(m <sup>2</sup> )							整備面積(m <sup>2</sup> )	整備面積(m <sup>2</sup> )	継続 実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積	
56,500m <sup>2</sup>	74,955m <sup>2</sup>	61,275m <sup>2</sup>	69,201m <sup>2</sup>	90,193m <sup>2</sup>	68,962m <sup>2</sup>	70,606m <sup>2</sup>	68,705m <sup>2</sup>	59,342m <sup>2</sup>					
<b>ため池の保全</b> ・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	整備箇所数							整備箇所数	整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数	
9箇所	8箇所	7箇所	10箇所 (6箇所継続)	44箇所 (9箇所継続)	45箇所 (6箇所継続)	25箇所 (16箇所継続)	36箇所 (21箇所継続)	28箇所					
多様な生態系	<b>多自然川づくり</b> ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	整備延長(km)							整備延長(km)	整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	-	2km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km				
	<b>ため池の保全(再掲「豊かな水」)</b> ・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	整備箇所数							整備箇所数	整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	9箇所	8箇所	7箇所	10箇所 (6箇所継続)	44箇所 (9箇所継続)	45箇所 (6箇所継続)	25箇所 (16箇所継続)	36箇所 (21箇所継続)	28箇所				
	<b>ビオトープ整備</b> ・動植物の多様な生息場所を確保することにより、地域環境の向上と人間と自然との共生を図る。	整備箇所数							整備箇所数	整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したビオトープの箇所数
	5箇所	4箇所	3箇所	6箇所	8箇所	4箇所	5箇所	1箇所	箇所				
	<b>水生生物調査(再掲「きれいな水」)</b> ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	実施箇所数							実施箇所数	実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
	31箇所	14箇所	20箇所	30箇所	27箇所	34箇所	29箇所	38箇所	95箇所				
		延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	前年増	単年	
	1,416人	747人	821人	1,247人	994人	2,122人	1,290人	2,122人	1,535人				
<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b> ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)							実施回数(回)	実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
1,125回	1,038回	634回	866回	1,028回	842回	851回	869回	781回					
	実施箇所数							実施箇所数	実施箇所数	前年増	単年		
127箇所	112箇所	120箇所	225箇所	242箇所	224箇所	196箇所	181箇所	179箇所					
	延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	前年増	単年		
54,087人	34,710人	32,547人	61,280人	67,749人	68,852人	56,122人	52,811人	44,281人					
ふれあう水辺	<b>多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)</b> ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	整備延長(km)							整備延長(km)	整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	-	2km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km				
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b> ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)							実施回数(回)	実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	1,125回	1,038回	634回	866回	1,028回	842回	851回	869回	781回				
		実施箇所数							実施箇所数	実施箇所数	前年増	単年	
127箇所	112箇所	120箇所	225箇所	242箇所	224箇所	196箇所	181箇所	179箇所					
	延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	前年増	単年		
54,087人	34,710人	32,547人	61,280人	67,749人	68,852人	56,122人	52,811人	44,281人					

尾張地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組 取組内容	実施機関名(構成員名)	実績									
				H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
				市民の参加者数					市民の参加者数				
<p>日光川等流域</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全般的に単調な護岸であることから、自然に配慮した多自然川づくりが必要である。</li> <li>○農地の保全と市街地における雨水浸透施設、など地下水かん養の充実に必要である。</li> <li>○河口域の大規模なコンクリート護岸は生物の生育・生息環境を形成していることから、これらの保全が必要である。</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○田圃や街など、周辺環境と調和した水辺景観の創出・維持</li> <li>○自然や親水性に配慮した川や水路の整備と清掃など水辺環境の改善による、人に親しみやすい水辺や景観を維持</li> <li>○市流域に群生しているヨシ原など、この流域に貴重な水辺の自然の保全</li> </ul>	森づくり	<p><b>なごや西の森づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なごや西の森づくり計画書」に基づき、市民(戸田川みどりの夢くらぶ)、企業、行政の協働で「なごや西の森づくり」を推進する。</li> <li>・森の成長にあわせた森の手入れ、森や水辺の観察、調査、クラフトづくり等森での体験イベントを実施する。</li> </ul>	名古屋市長	1,300人	2,450人	1,600人	1,500人	3,180人	4,000人	3,500人	3,400人	1,500人	
	郷づくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	まちづくり	<p><b>合流式下水道の改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、進集管、雨水貯留施設等の設置を行う。</li> </ul>	名古屋市長 事業完了：一宮市、津島市	【一宮市】 吐き口対策スクリーン設置 5箇所	【津島市】 雨水貯留施設設置	【津島市】 雨水貯留施設設置	【津島市】 雨水貯留施設設置	【一宮市】 進水管の増強 3箇所	【一宮市】 平成25年度で合流式下水道の改善は終了	-	-		
		<p><b>浄化槽の適切な維持管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽の適切な維持管理について、啓発を行う。</li> </ul>	あま市、蟹江町	-	-	-	-	-	-	-	【蟹江町】 町の広報誌に浄化槽の適正な維持管理についての啓発文を掲載した。	【あま市、蟹江町】 広報誌に浄化槽の適正な維持管理についての啓発文を掲載した。	
		<p><b>合併処理浄化槽の設置整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽を設置することにより生活環境の悪化を防止し、水質浄化を図る。</li> <li>・町内を「対象地域」と「特例地」に分けて合併処理浄化槽の設置の推進を行う。</li> </ul>	蟹江町	・対象地域53件 ・特例地21件	・対象地域53件 ・特例地21件	・対象地域58件 ・特例地16件	・対象地域40件 ・特例地9件	53件	76件	52件	31件	-	
		<p><b>水質環境目録値市民モニタリング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のおいしさ、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。</li> <li>・調査結果を名古屋市長に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市長が公表。</li> </ul>	名古屋市長	186人	182人	145人	149人	148人	175人	175人	175人	137人	
	川・里海づくり	<p><b>水生生物調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。</li> </ul>	流城市町、県水大気環境課 (※報告機関：県水大気環境課)	3箇所	4箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	0箇所	2箇所	5箇所	
		<p><b>三宅川の清掃活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の清掃を行う。</li> </ul>	稲沢市長	218人	208人	141人	68人	32人	35人	0人	48人	16人	
		<p><b>大江川・蟹江川の清掃活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の清掃を行う。</li> </ul>	あま市長、蟹江町	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	4箇所	2箇所	
		<p><b>蟹江川の清掃活動等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の清掃を行う。</li> </ul>	蟹江町	1回	2回	2回	2回	1回	2回	2回	2回	-	
			228人	321人	400人	438人	211人	458人	453人	455人	-		

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名(構成員名)	実績										
		取組内容		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
日光川等流域	川・里海づくり	大江川クリーン作戦 ・河川の清掃を行う。	一宮市	実施回数(回)	1回	1回	1回	1回	1回	1回	雨天中止	1回	1回	
				実施箇所数	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	雨天中止	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	
				延べ参加人数(人)	約600人	約900人	約900人	約800人	約800人	約800人	雨天中止	約800人	約800人	
		水辺スポットの整備 ・高水敷、散策路、護岸、休憩施設、防護策等の整備	蟹江町	観水施設面積(ha)	1ha	1ha	1ha	1ha	1ha	1ha	1ha	1ha	0.2ha	-
				整備箇所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-	-
				モニター登録人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		水質環境目標値市民モニタリング(再掲) ・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のおいし、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市内に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。	名古屋市	モニター登録人数	186人	182人	145人	149人	148人	175人	175人	175人	175人	137人
		木曾川・庄内川等流域	森づくり	水辺環境整備推進 ・育樹祭でヒノキの間伐等を行う。	愛知用水土地改良区	整備面積(ha)	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha
参加人数(人)	268人					164人	170人	147人	134人	93人	63人	71人	76人	
郷づくり	総合治水対策の推進 ・宅地化が進み、雨水不浸透面積が増大したことから、洪水対策と環境への負荷軽減を目的として、水田の埋立てを防止するための助成を行う。		扶桑町	助成件数	13件	244件	244件	234件	245件	245件	245件	238件	380件	364件
自然生体環境整備推進 ・都市化の進展とともに農地の転用が進み、身近な自然が次々と失われていく状況の中、市内で一番重要な自然の文化財である北島町津島神社の鎮守の森周辺を、自然を生かした「ピオトップ公園」として整備し、保全・活用する。	岩倉市		来園者数(人)	9,601人	10,044人	10,017人	8,966人	9,206人	9,716人	9,733人	9,844人	9,759人		
湿地・湿原の保全 ・除伐・下草刈りなど湿地・湿原の保全整備を行う。	春日井市		実施回数(回)	2回	2回	2回	2回	2回	-	1回	1回	1回		
まちづくり	合流式下水道の改修 ・合流式下水道の改修のため、吐き口対策スクリーン、遮葉管、雨水貯留施設等の設置を行う。	名古屋市 事業完了:一宮市	実施内容	【名古屋市】 ・きょう雑物除去装置:28ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:3ヶ所(完了1、整備中2) ・雨水貯留施設:3ヶ所(完了1、整備中2) ・簡易処理高度化施設:2ヶ所(整備中)	【名古屋市】 ・きょう雑物除去装置:20ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:4ヶ所(完了1、整備中3) ・雨水貯留施設:2ヶ所(完了1、整備中1) ・簡易処理高度化施設:2ヶ所(整備中)	【名古屋市】 ・きょう雑物除去装置:19ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:4ヶ所(完了2、整備中2) ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:3ヶ所(完了1、整備中2)	【名古屋市】 ・きょう雑物除去装置:20ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:4ヶ所(完了2、整備中2) ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:3ヶ所(完了1、整備中2)	【名古屋市】 ・きょう雑物除去装置:1ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:3ヶ所(完了1、整備中2) ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:2ヶ所(完了1、整備中1)	【名古屋市】 ・きょう雑物除去装置:3ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:2ヶ所(完了) ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:2ヶ所(完了1、整備中2)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設:2ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:3ヶ所(完了1、整備中2)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設:2ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:3ヶ所(完了1、整備中2)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設:2ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:2ヶ所(完了1、整備中1)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:2ヶ所(完了1、整備中2)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設:1箇所(整備中) ・簡易処理高度化施設:4箇所(完了2、完了2)

【課題】  
○矢田川上流では環境基準が達成できていない。庄内川下流では生物の生息環境や水質に懸念がもたれる。改善が望まれる。  
○庄内川は河川の植生が非常に少ない。生物の生息環境や水質の改善と雨水などによる地下水かん養が必要である。  
○新川流域では非かんがい期に発生する水質の改善と雨水などによる地下水かん養が必要である。  
○農業用排水道では可溶性リンの削減が重要で、生物の生息環境への配慮が求められる。  
○水質等の改善により魚が現れられ人が頼める身近な水辺の創造  
○都市域において生物が豊かな干潟やヨシ原などの保全

流域名	テーマ区分	指標とする取組 取組内容	実施機関名(構成員名)	実績									
				H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
木曾川・庄内川等流域	まちづくり	特定都市河川浸水被害対策法等に基づく取組	名古屋市長官舎、春日井市、大山市、江南市、小牧市、稲沢市、碧南市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、泉河川課 (※報告機関: 泉河川課)	貯留施設: 18,167㎡ 透水性舗装: 76,734㎡ 浸透トレンチ: 1,800m 浸透柵: 293個	貯留施設: 7,622㎡ 透水性舗装: 80,628㎡ 浸透トレンチ: 2,716m 浸透柵: 363個	貯留施設: 9,090㎡ 透水性舗装: 81,075㎡ 浸透トレンチ: 2,263m 浸透柵: 250個	貯留施設: 6,329㎡ 透水性舗装: 91,805㎡ 浸透トレンチ: 2,389m 浸透柵: 374個	貯留施設: 85,264㎡ 透水性舗装: 115,920㎡ 浸透トレンチ: 11,602m 浸透柵: 266個	貯留施設: 17,467㎡ 透水性舗装: 158,113㎡ 浸透トレンチ: 11,607m 浸透柵: 159個	貯留施設: 13,414㎡ 透水性舗装: 106,615㎡ 浸透トレンチ: 11,450m 浸透柵: 121個	貯留施設: 18,035㎡ 透水性舗装: 120,787㎡ 浸透トレンチ: 11,838m 浸透柵: 133個	貯留施設: 27,613m3 透水性舗装: 125,854m2 浸透トレンチ: 2,701m 浸透柵: 267個	
		水質環境目標値市民モニタリング(再掲)	名古屋市	186人	182人	145人	149人	148人	175人	175人	175人	137人	
		湧き水モニタリング	名古屋市	40人	40人	44名	44名	43人	34人	34人	34人	35人	
		遊歩道・サイクリングロード整備事業	一宮市、江南市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		矢田川散歩道整備事業	尾張旭市	0.0175ha	0.0092ha	0.203ha	0.13ha	-	0.08ha	0.126ha	0.094ha	-	
		川・里海づくり	瀬川の総合整備	名古屋市	7,905m	8,530m	8,730m	9,220m	9,955m	10,504m	10,922m	11,385m	11,882m
		親水護岸の整備	住内川河川事務所	3箇所	-	-	-	1箇所	1箇所	-	-	-	
		港湾環境整備事業(中川運河緑地)	名古屋港管理組合	約3.2ha (H21までの累積整備面積)	約3.2ha (H22までの累積整備面積)	約3.3ha (H23までの累積整備面積)	約3.7ha (H24までの累積整備面積)	約3.8ha (H25までの累積整備面積)	約3.9ha (H26までの累積整備面積)	約4.0ha (H27までの累積整備面積)	約3.9ha (H28までの累積整備面積)	3.9ha	
		直接浄化施設の運転・管理	名古屋港管理組合	約140万m <sup>3</sup>	約140万m <sup>3</sup>	約140万m <sup>3</sup>	約140万m <sup>3</sup>	約140万m <sup>3</sup>	約140万m <sup>3</sup>	約140万m <sup>3</sup>	約140万m <sup>3</sup>	約140万m <sup>3</sup>	
		中川運河水質改善事業	名古屋港管理組合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		庄内川・矢田川の環境整備活動	矢田・庄内川をきれいにする会	4回	2回	1回	1回	1回	5回	-	2回	-	
		河川の清掃を行う。	-	4箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	5箇所	-	1箇所	-	

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名(構成員名)	実績										
		取組内容		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
木曽川・庄内川等流域	川・里海づくり	大山川クリーンアップ行事	大山川を愛する市民の会	実施回数(回)	2,100人	2,016人	2,100人	延べ参加人数(人) 2,095人	1,682人	1,760人	1,696人	実施回数(回) 1回	実施回数(回) 1回	
		ごみの量(kg)		3,200kg	3,200kg	1,900kg	1,880kg	1,770kg	2,300kg	212kg	実施箇所数 13箇所	実施箇所数 15.0km		
		・河川の清掃を行う。										延べ参加人数(人) 1,652人	延べ参加人数(人) 1,568人	
		五条川等の清掃活動	大山市	実施回数(回)	2回	1回	1回	2回	1回	3回	3回	3回	3回	-
		実施箇所数		2箇所	3箇所	3箇所	1箇所	1箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	-
		延べ参加人数(人)		500人	500人	500人	30人	500人	1,640人	2,950人	2,950人	2,950人	-	-
		・河川の清掃を行う。												
		クリーンアップ五条川	岩倉市	実施回数(回)	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	-
		実施箇所数		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-
		延べ参加人数(人)		700人	750人	750人	750人	約750人	約800人	800人	800人	800人	-	-
		・河川の清掃を行う。												
		新川等の清掃活動	清須市	実施回数(回)	2回	2回	4回	4回	2回	2回	2回	2回	2回	-
		実施箇所数		3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	-
		延べ参加人数(人)		4,603人	6,694人	約6,000人	約6,000人	約6,500人	約6,500人	約5,800人	約5,800人	約5,800人	-	-
		・河川の清掃を行う。												
		川と瀧のクリーン大作戦	一宮市、春日井市、江南市、大山市、扶桑町、庄内川河川事務所(報告機関:市町村)	実施回数(回)	9回	4回	4回	3回	1回	5回	5回	5回	12回	-
		実施箇所数		17箇所	10箇所	13箇所	12箇所	6箇所	17箇所	17箇所	17箇所	24箇所	24箇所	-
		延べ参加人数(人)		4,396人	1,434人	3,800人	2,483人	1,473人	2,323人	2,376人	2,376人	7,948人	7,948人	-
		・住民と行政が一体となり清掃活動を実施する。												
		藤前干潟クリーン大作戦	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会(庄内川河川事務所)	実施箇所数	2箇所	2箇所	-	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
		延べ参加人数(人)		1,231人	1,731人	1,649人	1,589人	2,026人	2,363人	1,649人	1,649人	2,581人	1,724人	1,724人
		実施回数(回)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2回
		・庄内川下流から藤前干潟までの清掃を行う。												
みなと川まちづくり 庄内川・新川クリーン大作戦	庄内川河川事務所	実施箇所数	2箇所	2箇所	延べ2箇所 春:1箇所(2会場) 秋:1箇所(2会場)	1箇所	9箇所	9箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所		
延べ参加人数(人)		898人	216人	延べ1,423人 春:726人 秋:697人	延べ1,649人 春:757人 秋:892人	1,189人	1,320人	775人	1,502人	1,502人	1,502人	1,502人		
実施回数(回)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
・庄内川・新川(港区)の清掃活動を行う。														
水生生物調査	流域市町、庄内川河川事務所、県水大気環境課(※報告機関:庄内川河川事務所、県水大気環境課)	実施箇所数	26箇所	7箇所	15箇所	25箇所	24箇所	30箇所	30箇所	30箇所	32箇所	71箇所		
延べ参加人数(人)		1,097人	228人	439人	892人	805人	1,789人	2,014人	2,014人	1,781人	1,455人	1,455人		
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。														
モリコロの川(矢田川)を守るプロジェクト	瀬戸市(モリコロの川を守る会)	実施回数(回)	-	-	-	-	-	-	-	-	4回	-		
延べ参加人数(人)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	147人		
・地元の河川であるに矢田川に目を向け、流域全体をネットワークで結び、情報・ノウハウを共有し、その知見等を流域全体の住民に広く広報し、まずは河川に対する関心を高めることが大切であると考え、プロジェクトを結成し、活動を開始。 ・河川堤防の清掃、草刈、堤防植林(緑の回廊)の維持管理、河川に生息する希少生物の保護、地域交流・親水行事・水環境に関するフォーラム等の実施。														

流域名	テーマ区分	指標とする取組		実績								
		取組内容	実施機関名(構成員名)	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
				実施回数(回)								
木曽川・庄内川等流域	川・里海づくり	【合瀬川の清流を取りもどす会】の活動		実施回数(回)								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚が住みホタルが飛ぶ豊かな自然を取り戻し、住民の健康で快適な生活ができる環境をつくることを目的として結成された「合瀬川の清流を取りもどす会」において、合瀬川流域の水質の保全と環境の美化に取り組み。</li> <li>・生物調査、採水調査、「水辺に親しむ活動」、「河川美化活動」を実施する。</li> </ul>	小牧市、大山市、北名古屋市、扶桑町、大口町 (※報告機関:小牧市)	・生物調査:3回 ・水質調査:2回 ・水辺に親しむ活動:3回 ・河川美化活動:5回	・生物調査:3回 ・水質調査:2回 ・水辺に親しむ活動:3回 ・河川美化活動:5回	・生物調査:3回 ・水質調査:3回 ・水辺に親しむ活動:3回 ・河川美化活動:5回	・生物調査:3回 ・水質調査:2回 ・水辺に親しむ活動:4回 ・河川美化活動:5回	・生物調査:3回 ・採水調査:2回 ・水辺に親しむ活動:4回 ・河川美化活動:5回	・生物調査:3回 ・採水調査:2回 ・水辺に親しむ活動:3回 ・河川美化活動:5回	・生物調査:3回 ・採水調査:2回 ・水辺に親しむ活動:4回 ・河川美化活動:8回	4回	5回
				実施箇所数								
		水環境指標値市民モニタリング(再編)		モニター登録人数								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の河川、ため池において、透明度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。</li> <li>・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめた、名古屋市が公表。</li> </ul>	名古屋市	186人	182人	145人	149人	148人	175人	175人	175人	137人
			藤前干瀬でのイベントの実施		参加者数(人)							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民に対して都市と自然との共生の象徴として藤前干瀬の保全活用の意義及びその重要性を分かりやすくアピールすることを目的とし、藤前干瀬周辺において、平成25年度までは秋に1日または2日間、平成26年度以降は通年で、普及啓発イベント(ワークショップ、観察会など)を実施。</li> </ul>	名古屋市	延べ5,900人 (2日間 2会場)	延べ8,000人 (2日間 2会場)	延べ6,300人 (2日間 2会場)	延べ6,800人 (2日間 2会場)	延べ3,900人	544人	383人	515人	583人
			魚道環境の調査		実施回数							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚道環境調査を行う。</li> </ul>	矢田・庄内川をきれいにする会	実施箇所数			10回	9回	20回	22回	-	
				実施箇所数			5箇所	2箇所	14箇所	10箇所	-	
船だまり・漁場・稚魚の放流場の整備・清掃		実施箇所数										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曽川漁業共同組合の各支部長が主となり、船だまり・漁場・稚魚の放流場の整備・清掃を行う。</li> </ul>		木曽川漁業協同組合	実施箇所数			14箇所	14箇所	17箇所	17箇所			
天白川・山崎川等流域	森づくり	水瀬瀬養殖育成事業		整備面積(ha)								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹祭でヒノキの苗の植樹・育樹を行う。</li> </ul>		0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha		
		分収造林の整備		育後調査参加人数(人)								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「森林を守ることでも水を守る」ことを目的として、生活用水、工業用水及び農業用水の殆どを木曽川に依存している日進市の費用負担により、味噌川ダム左岸の国有林内で分収造林「平成日進の森林」の造林事業を実施。</li> </ul>	日進市	87人	64人	60人	59人	87人	68人	98人	34人	-
			郷づくり		-							
まちづくり		合流式下水道の改善		実施内容								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。</li> </ul>	名古屋市	・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:1ヶ所(整備中)	・きょう雑物除去装置:4ヶ所(完了)	・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:2ヶ所(完了1ヶ所、整備中1ヶ所)	・きょう雑物除去装置:24ヶ所(完了)	・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:4ヶ所(完了1ヶ所、整備中3ヶ所)	・きょう雑物除去装置:13ヶ所(完了)	・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:3ヶ所(完了)	・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中)	・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中)	-	-
	なごや東山の森づくり		参加者数(人)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なごや東山の森づくり基本構想」に基づき、市民(なごや東山の森づくりの会)、企業、行政の協働で「なごや東山の森づくり」を推進する。</li> <li>・雑木林や湿地、竹林の手入れ、森の観察や調査、クラフトづくり等森での体験イベントを実施する。</li> </ul>		名古屋市	3,550人	2,900人	3,600人	4,100人	3,900人	3,600人	4,797人	4,995人	4,943人	



流域名	テーマ区分	指標とする取組		実施機関名(構成員名)	実績								
		取組内容			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
					モニター登録人数							モニター登録人数	
<b>天白川・山崎川等流域</b> まちづくり 水質環境目標値市民モニタリング(再掲) ・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。 湧き水モニタリング(再掲) ・水循環の一つの指標と考えられる湧き水の状況を、市民と協働で把握し、水循環に対する市民の関心を高め、行動へのきっかけとする。 川・里海づくり <b>水生生物調査</b> ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。 水質環境目標値市民モニタリング(再掲) ・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。 <b>天白・川辺の乗校</b> ・天白川とその流域を中心として、川に親しみ、川に学び、川の課題を知り、自然環境のすばらしさの維持・保全につとめ、川にかかわる生活のたのしさをゆたかさを次世代に伝承する。	名古屋市	186人	182人	145人	149人	148人	175人	175人	175人	175人	137人		
	名古屋市	40人	40人	44名	44名	43人	34人	34人	34人	34人	35人		
	流城市町、県水大気環境課 (※報告機関:県水大気環境課)	2箇所	3箇所	3箇所	3箇所	2箇所	3箇所	3箇所	4箇所	18箇所			
	名古屋市	101人	311人	241人	287人	157人	298人	238人	293人	62人			
	名古屋市	186人	182人	145人	149人	148人	175人	175人	175人	137人			
	名古屋市	<b>実施内容</b> ① 6月 環境保全幼体団体(環境前)実習 ② 6月 名古屋市天白プールにて「ヤゴ検出作戦」を実施 ③ 8月 天白小橋下流にて「川遊びと生き物観察」を実施 ④ 10月 名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」に「コアス」出席 ⑤ 11月 「天白区&日進市 天白川IDEつながり隊」 ⑥ 児童編 ~クレーン作戦と秋の味覚~」を実施 ⑦ 12月 「GOP天白 写真&イラスト展」を開催 ⑧ 平成21年2月 天白川自然歩道の緑の回廊事業 植樹林の緑切認定の実施 ⑨ 平成21年3月 日進市&天白区 天白川IDEつながり隊」上流編 ~天白川の上流調査~」を実施 ⑩ 平成21年3月 「天白川のもりかいで」作成について 名古屋市から奨励金交付 ⑪ 通年 総合学習支援 (天白小学校はじり4小学校4年生生計530人に対して) ⑫ 天白川・植田川各池地帯にて「COP天白自然歩道整備」を実施 ⑬ 10月名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」にコアス出席 ⑭ 11月「天白川クレーン作戦」を実施 ⑮ 通年 総合学習支援(天白小学校はじり4小学校)							天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	
	<b>実施内容</b> ① 9月 天白川(天白小橋下流地帯)にて生き物観察と川遊びイベントを実施 ② 10月 名古屋市セクター「地域のまちづくり」を推進 ③ 10月 名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」にコアス出席 ④ 11月 天白公園「大観望の遊歩」に実行委員として参加 ⑤ 12月 天白川クレーン活動を実施 ⑥ 通年 総合学習支援(植田南小学校はじり4小学校)							天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等		
	<b>実施内容</b> ① 6月 環境保全幼体団体(環境前)実習 ② 6月 名古屋市天白プールにて「ヤゴ検出作戦」を実施 ③ 8月 天白小橋下流にて「川遊びと生き物観察」を実施 ④ 10月 名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」に「コアス」出席 ⑤ 11月 「天白区&日進市 天白川IDEつながり隊」 ⑥ 児童編 ~クレーン作戦と秋の味覚~」を実施 ⑦ 12月 「GOP天白 写真&イラスト展」を開催 ⑧ 平成21年2月 天白川自然歩道の緑の回廊事業 植樹林の緑切認定の実施 ⑨ 平成21年3月 日進市&天白区 天白川IDEつながり隊」上流編 ~天白川の上流調査~」を実施 ⑩ 平成21年3月 「天白川のもりかいで」作成について 名古屋市から奨励金交付 ⑪ 通年 総合学習支援 (天白小学校はじり4小学校4年生生計530人に対して) ⑫ 天白川・植田川各池地帯にて「COP天白自然歩道整備」を実施 ⑬ 10月名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」にコアス出席 ⑭ 11月「天白川クレーン作戦」を実施 ⑮ 通年 総合学習支援(天白小学校はじり4小学校)							天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等		
	<b>実施内容</b> ① 6月 環境保全幼体団体(環境前)実習 ② 6月 名古屋市天白プールにて「ヤゴ検出作戦」を実施 ③ 8月 天白小橋下流にて「川遊びと生き物観察」を実施 ④ 10月 名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」に「コアス」出席 ⑤ 11月 「天白区&日進市 天白川IDEつながり隊」 ⑥ 児童編 ~クレーン作戦と秋の味覚~」を実施 ⑦ 12月 「GOP天白 写真&イラスト展」を開催 ⑧ 平成21年2月 天白川自然歩道の緑の回廊事業 植樹林の緑切認定の実施 ⑨ 平成21年3月 日進市&天白区 天白川IDEつながり隊」上流編 ~天白川の上流調査~」を実施 ⑩ 平成21年3月 「天白川のもりかいで」作成について 名古屋市から奨励金交付 ⑪ 通年 総合学習支援 (天白小学校はじり4小学校4年生生計530人に対して) ⑫ 天白川・植田川各池地帯にて「COP天白自然歩道整備」を実施 ⑬ 10月名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」にコアス出席 ⑭ 11月「天白川クレーン作戦」を実施 ⑮ 通年 総合学習支援(天白小学校はじり4小学校)							天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等		
	<b>実施内容</b> ① 6月 環境保全幼体団体(環境前)実習 ② 6月 名古屋市天白プールにて「ヤゴ検出作戦」を実施 ③ 8月 天白小橋下流にて「川遊びと生き物観察」を実施 ④ 10月 名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」に「コアス」出席 ⑤ 11月 「天白区&日進市 天白川IDEつながり隊」 ⑥ 児童編 ~クレーン作戦と秋の味覚~」を実施 ⑦ 12月 「GOP天白 写真&イラスト展」を開催 ⑧ 平成21年2月 天白川自然歩道の緑の回廊事業 植樹林の緑切認定の実施 ⑨ 平成21年3月 日進市&天白区 天白川IDEつながり隊」上流編 ~天白川の上流調査~」を実施 ⑩ 平成21年3月 「天白川のもりかいで」作成について 名古屋市から奨励金交付 ⑪ 通年 総合学習支援 (天白小学校はじり4小学校4年生生計530人に対して) ⑫ 天白川・植田川各池地帯にて「COP天白自然歩道整備」を実施 ⑬ 10月名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」にコアス出席 ⑭ 11月「天白川クレーン作戦」を実施 ⑮ 通年 総合学習支援(天白小学校はじり4小学校)							天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等		
<b>伊勢湾沿岸域(知多半島等)</b> 森づくり 水環境整備林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹・育樹を行う。 郷づくり ー ー ー ー ー ー 川・里海づくり <b>海岸環境整備事業(坂井海岸)</b> ・砂浜の保全・再生を図るため、突堤の整備や養浜を行う。 <b>水生生物調査</b> ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	愛知用水土地改良区	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha	ー			
	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー			
	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー			
	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー			
	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー			
	県知多建設事務所	ー	ー	65.5m	ー	62.4m	67.8m	18.9m	ー	22.2m			
	ー	33m	ー	ー	ー	ー	ー	ー	73.1m	ー			
	流城市町、県水大気環境課 (※報告機関:県水大気環境課)	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	1箇所			
ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)			
ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	2人			